

2019年度 北京大学国際関係学院学術交流 報告書

日 時：2020 年 1 月 9 日（木）15:00～

場 所：成蹊大学 10 号館 2F 大会議室

発表者：北京大学国際関係学院 範士明副教授

北京大学国際関係学院 庄俊挙副編審、編輯部主任

1. 司会挨拶

司会：成蹊大学 光田剛教授

2. 発表

- ・ 从近代日本英文报纸的出现观察其内政外交

北京大学国際関係学院 範士明副教授

(通訳：成蹊大学 光田剛教授)

- ・ 近 10 年来中国国际政治研究的回顾与思考：

基于《国际政治研究》(2009-2019) 的刊文分析

北京大学国際関係学院 庄俊挙副編審、編輯部主任

(通訳：成蹊大学 野原将輝准教授)

3. 質疑応答

(通訳：成蹊大学 金光旭教授)

4. 報告会概要

2020 年 1 月 9 日（木）に成蹊大学 10 号館大会議室で研究員報告会が開催された。

北京大学国際関係学院副教授・範士明氏（通訳：光田）は「从近代日本英文报纸的出现观察其内政外交（近代日本における英字新聞の誕生から見た内政外交について）」という題目で発表され、新聞の誕生において、英字新聞と外国人がもたらした影響について述べられた後、「政府と新聞」、「国家と社会」、「日本と外国」、「東アジアと世界」という視座から内政、外交について詳細な報告がなされた。

北京大学国際関係学院副編審、編輯部主任・庄俊挙氏（通訳：野原）は「近 10 年来中国国际政治研究的回顾与思考：基于《国际政治研究》(2009-2019) 的刊文分析（10 年来の中国国際政治研究の回顧と考察：『国際政治研究』(2009-2019) 掲載論文の分析を通して）」という題目で発表され、学術雑誌『国際政治研究』に掲載された論文、特集の変遷から中国における国際政治研究の変遷と近年の動向についての報告がなされた。

参加者は概ね 20 人、報告後には両氏の研究発表に関することだけでなく、特に近年の中国における国際政治の動向に関することまでおよび、活発な議論が交わされた。